

[UCRC ドクター研究員プロジェクト]

遠里小野(和歌史を学ぶ会)特別セミナー

書評会的シンポジウム

鈴木健一氏『古典詩歌入門』を読む

——著者を囲んで

日時: 2007年9月19日(水) 13:00~16:00

場所: 大阪市立大学 高原記念館 1F 研究スペース

(JR阪和線 杉本町駅から徒歩5分)

< Program >

- 13:00~13:05 あいさつ、鈴木先生のご紹介
- 13:05~14:25 書評(発表者4名×20分)
- 「〈自然〉と〈人間〉」という評価軸をめぐって
前期博士課程 能登敦子
- 第二章「〈伝統〉と〈現在〉」について(仮)
前期博士課程 田中寛子
- テキストの〈内部〉と〈外部〉との関わりをめぐって
後期博士課程 根来麻子(UCRC ドクター研究員)
- 実証と感性
—『古典詩歌入門』の構成と研究史における意義—
後期博士課程 足立匡敏(UCRC ドクター研究員)
- 14:25~14:45 コーヒーブレイク
- 14:45~15:25 鈴木先生の感想、発表者との議論
- 15:25~16:00 会場も交えての議論
- 「遠里小野」会メンバーからの質問・意見
参加者からの質問・意見
- 16:00 あいさつ、鈴木先生へのお礼 など

☆鈴木 健一(すずき けんいち)先生

1960年生まれ。1983年東京大学文学部卒業。
現在 学習院大学文学部教授
専門 日本古典文学、詩歌史、江戸時代の文学
主著:

- 『近世堂上歌壇の研究』(汲古書院 1996年)
『江戸詩歌の空間』(森話社 1998年)
『林羅山年譜稿』(べりかん社 1999年)
『伊勢物語の江戸』(森話社 2001年)
和歌文学大系『後水尾院御集』
(明治書院 2003年)
『江戸詩歌史の構想』(岩波書店 2004年)
『知ってる古文の知らない魅力』
(講談社現代新書 2006年)



⇒『古典詩歌入門』
(岩波書店 2007年)

現在の和歌研究をリードされる、鈴木健一氏の最新刊『古典詩歌入門』。

「掛詞」「本歌取り」「雅と俗」「和漢の混淆」など、従来の通時的な見方だけではなく、ひと味違う観点から、分かりやすく詩歌の歴史を論じる、若手研究者必読の書です。

当日は、著者である鈴木氏をお招きし、本学の院生による書評と、それをふまえたディスカッションを中心に、本書の読みを深めます。

どなたでも聴講することができます。ぜひお越し下さい。

- ※ 準備の都合上、できましたら事前(9月15日まで)に参加のご連絡をお願いいたします。
- ※ 『古典詩歌入門』は、各自でご用意下さい。
- ※ お申し込み・お問い合わせ先…足立 匡敏: 090-6975-2648 / match☆h4.dion.ne.jp
根来 麻子: koume_kii☆hotmail.com 送信の際は、☆を@に変えて下さい。

大阪市立大学大学院 文学研究科 都市文化研究センター(UCRC) / 大阪市立大学 和歌史を学ぶ会「遠里小野」

